

第三編

人文地理

人誌

◎人誌 本洲の人口は大約三千七百万餘に上り、人種は白人、印人、黑人及び混合種族なり。白人種は概ね西班牙人の子孫にして、唯、伯刺西爾には葡萄牙の子孫多し。宗教は概ね基督舊教行はれ、言語は西班牙語廣く行はる、政體は共和政體なり。

○秘露國は北亞米利加の墨西其と同じく、新世界發見以前に文化著しく發達せり、即アンデス高原、チカ湖畔は當初文化の中心なり。其の遺跡歷々として今尙存せり。

◎國勢 本洲の各國は其初め悉く西班牙及び葡萄牙の兩國に屬せしが、千八百十年智利第一に獨立の旗を擧げ、西班牙の羈絆を脱せしより、僅二十年間に於て各地競ふて獨立を計り、西班牙、葡

國勢

葡萄牙の兩國は全く主宰權を失へり。現今歐洲の領屬の下にあるは北方ギアナの小部分なり。本洲の各國は以上の如く近時の新獨立國なるを以て國の基礎未だ定らず、輒もすれば内亂、革命相踵ぎ殆ど寧歲なく、從ひて文化、工藝未だ發達せず、且西班牙、葡萄牙人の殖民地なりしを以て、其の風俗、習慣相同じく人情、浮華輕佻たるを免れず。

○本洲は天然力の壯大なるが爲め、却て交通の便を妨げて、内地の開發遅々たりしが、近時各邦共に鐵道の必要を感じ、汲々として其の敷設に従事せり。且歐洲各國の人口漸く増加し來り、生計の困難なるに従ひ、移住民の數多きを加へ、伯刺西爾及び亞爾然丁等には年々移民少からず、往年來空しく山野に遺棄せられし富源を開發し、人烟荒涼の南米平原も他日戸口繁庶し、文化旺盛

の邦土となる又期し難きにあらざる可し。
◎南亞米利加洲の比較 本洲を西經六十度の線により、東西兩部に分ち、比較すれば左の如し。

東部

西部

- 一、域内には洲中の最大國、及び三箇の小國を含む。
- 二、山岳蟠踞し、森林鬱蒼として、天然の發達頗る大なり。
- 三、巨大なる河流ありて、將來交通灌溉の利を享くるに至るべし。
- 四、雨量概ね豊沛にして、長大河流を涵養せり。
- 五、農産(殊に珈琲砂糖綿羊)豊に、又多少の鑛産あり。

- 一、域内には洲中の重なる七國を含む。
- 二、大山脈聳立して、概ね高原を作れども、又廣大の平野なり。
- 三、オリノコ河を除きては、東部の支流多く、河運灌溉の利少し。
- 四、雨量概ね欠乏して、乾燥なり。
- 五、牧畜鑛物、及び藥品等の産あり。

六、盛都は多く河畔沿海の低地にありて、未だ著しく發達せず。

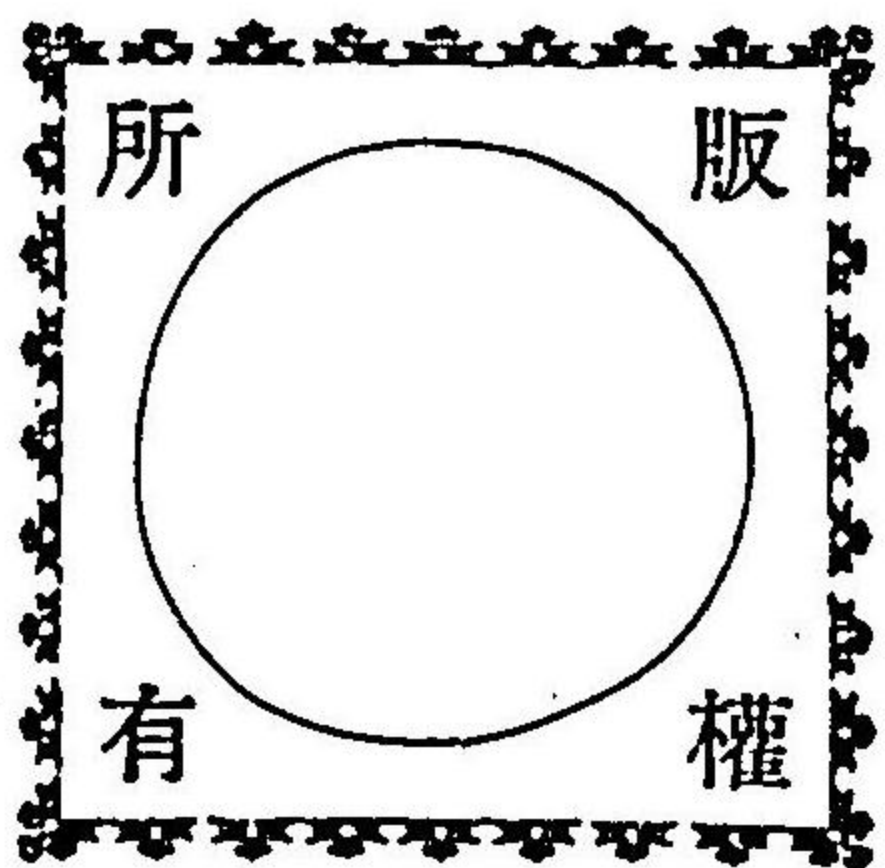
六、盛都は多く數千尺の高所にあり、現今稍發達せるものあり。

新編 中學地理外國誌下卷終

明治三十二年二月廿四日印刷
明治三十二年二月廿七日發行

新編中學地理外國誌

定價 上卷金六拾錢
下卷金六拾五錢



監修者 矢津昌永

編修者 角田政治

印刷者兼發行 小林八郎

印刷所 株式會社 秀英舍第一工場

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目拾貳番地

發兌書肆
大賣捌所

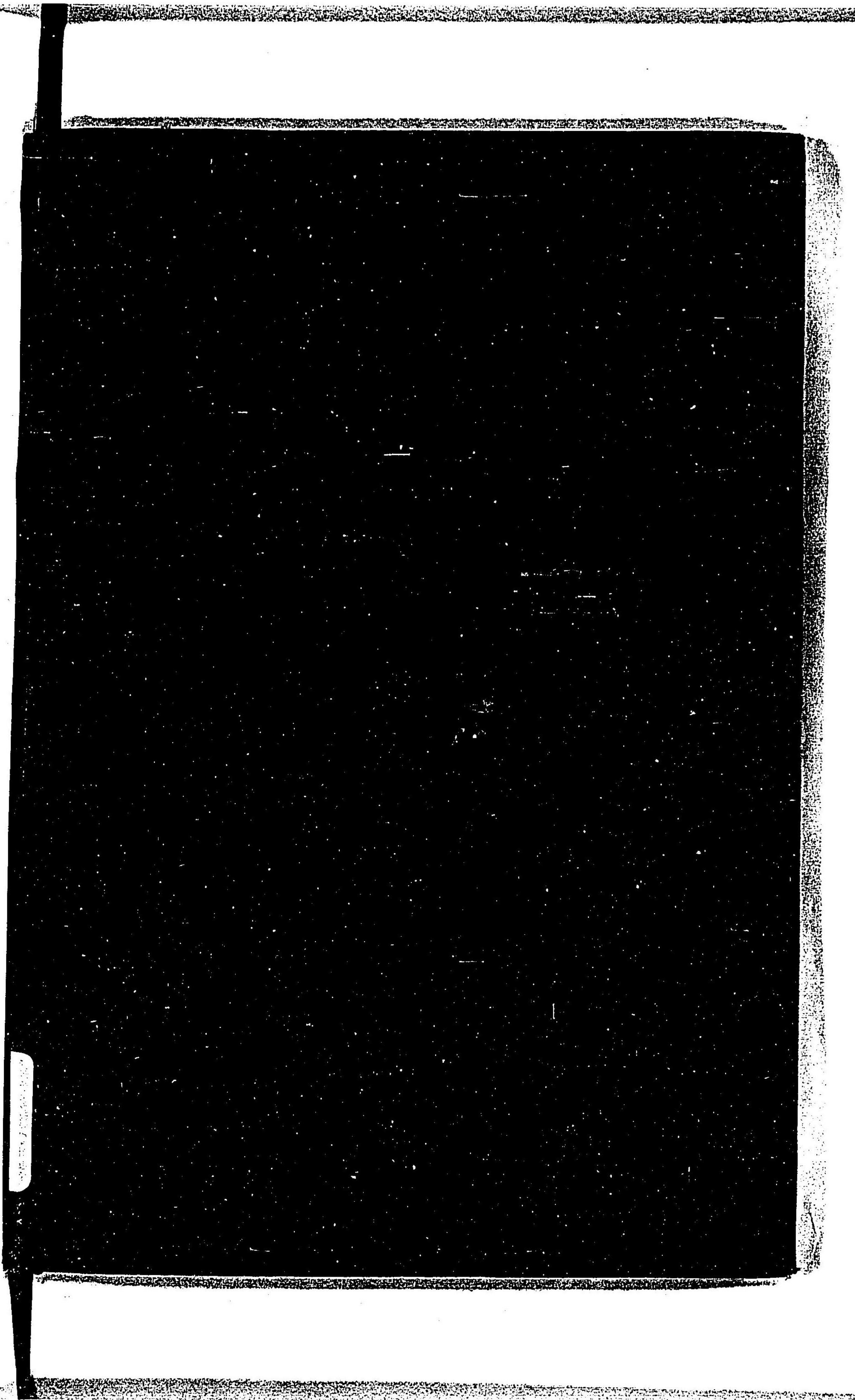
集英堂
各府縣下書肆

最近文部省檢定

及新刊中學師範學校教科用書

- 矢津昌永監修 新編中學地理日本誌 文部省檢定 附地圖 全壹册 定價金七拾五錢
- 同 新編中學日本地圖 全壹册 定價金貳拾五錢
- 同 新編中學外國地圖 全壹册 定價金三拾錢
- 文學博士井上圓了撰 中等倫理書 全五册 定價金壹圓貳拾五錢
- 文學士黑板勝美校閱 中等漢文讀本 文部省檢定 全十册 定價金貳圓參拾貳錢
- 遊佐誠市合編 初等漢文教授法 全壹册 定價金參拾五錢
- 文學士黑板勝美校閱 國文の葉 文部省檢定 全壹册 定價金拾五錢
- 遊佐誠市合著 國文の葉 全壹册 定價金拾五錢
- 鳥山讓編著 國文の葉 全壹册 定價金拾五錢
- 岡田辰次郎著 新體皇國小史 文部省檢定 全貳册 定價金上卷參拾八錢 下卷參拾八錢
- 理學博士飯島魁校閱 新體博物示教 文部省檢定 全壹册 定價金參拾八錢
- 佐々木豐三郎編著 新體博物示教 全壹册 定價金參拾八錢
- 後藤牧太共編 理化示教 全壹册 定價金三拾六錢
- 根岸福彌 理化示教 全壹册 定價金三拾六錢
- 川端玉章畫 新撰日本畫帖 文部省檢定 全八册 定價金壹圓參拾貳錢
- 山田禎三郎著 新教育史 全壹册 定價金六拾錢

84
39



84

39

